



3年ぶりの「制限のないゴールデンウィーク輸送」おつかれさまでした！

ダイヤ改正を振り返り 検証行動をつくりだそう！

ゴールデンウィーク輸送、大変お疲れさまでした！ご利用状況は2018年と比べて69%でしたが、昨年比217%となり、3年ぶりの「制限のないゴールデンウィーク輸送」を大きな事故もなく支えてくださった組合員・社員の皆様に敬意を表します。

さて、ダイヤ改正からまもなく2か月が経過しようとしています。日光線・宇都宮線で減便・短編成化による混雑が発生し、**お客さまに多大なご迷惑をおかけしています。**また、鹿島線でも短編成化によりイベント輸送に対応できない事象が発生しています。

一方で、乗務員の業務の見直しも行われました。地本は2月18日に東地申36号『安全・安定輸送と働きやすさの向上を目指した「乗務員の業務等の見直しについて」の実施を求める申し入れ』団体交渉を行いました。会社は「必要な時間は確保している」「予定通り進める」と**実施日ありきの回答に終始しました。**

そんな中、東京新幹線運輸区では労働時間が不足しており職場が混乱したほか、新たに東京電車区においても労働時間が不足していたことが明らかになりました。

職場では「時間にゆとりがなくなった」「労働時間は正しいのか？」という声が多く出ています。**労働環境の悪化は、安全安定輸送を揺るがす重大な問題につながります。**

地本は全系統で検証行動を実施していきます。様々な変化があったダイヤ改正を振り返り、正すべきところは団体交渉を申し入れ、次期ダイヤ改正などでの改善を求めていきます。安全軽視・現場軽視・顧客軽視の会社姿勢を許さず、あるべき姿を実現するために、全組合員のご協力をお願いします！



TOKYO MAIL NEWS No.245

東地申36号『安全・安定輸送と働きやすさの向上を目指した「乗務員の業務等の見直しについて」の実施を求める申し入れ』団体交渉